

PCユース

～北から南から～

平成28年度の意見交換会を終えて（広報幹事会）

PC建協では、7月から10月にかけて10カ所の地方整備局等と意見交換会を行いました。

実施されるとともに、今年度から「Construction」の推進が図られるなか、①扱い手確保、②生産性向上、③インフラ長寿命化をメインテーマとして報告・提案を行つた。

■意見交換会テーマ

(1) 扱い手確保の推進

①工事量の平準化と安定確保

②適切な工期設定（工程表共有等）

③完全週休2日モデル工事試行拡大

(2) 生産性向上の推進

①プレキャスト技術採用の拡大

②標準化による生産性の向上

(3) インフラ長寿命化への対応

①PC橋の維持保全事業での技術提案・交渉方式の試行工事の発注

②PC橋の維持保全事業における地方自治体への支援（地域一括型発注等）

(2) 生産性向上の推進

PC建協理事会において、次のように総括を取り纏めました。

本年度は、昨年度施行された『改正品確法』に伴う様々な取り組みが

かつた。初期コストに偏らない評価方法に関心が持たれ、勉強会の開催に前向きな地方整備局が多くつた。

②標準化による生産性の向上については、「コンクリート生産性向上検討協議会」の進捗を注視している地方整備局が多かつた。

(3) インフラ長寿命化への対応

①PC建協独自の提案であつた「パッケージ型の導入」から国土交通省が提唱している「技術提案交渉方式の試行的実施」に切り替えた。現段階では必ずしも積極的な回答ではなかつたが、PCの特殊性について理解が深まり、今後の課題として認識が得られた。②地域一括型発注については採用には課題が多いとの回答があつた。

PC工学会（会長、副会長、理事）とPC建協（理事会、技術委員会）との意見交換会が、平成28年10月21日、PCシンポジウムに合わせて福岡県北九州市の西日本国際会議場で開催されました。

PC工学会から「会員増加への取り組み」、PC建協から「PC専門家派遣の取り組み」「生産性向上の取り組み」の報告があり、PC普及に向けた取り組みや建設業界における明日の扱い手の確保について意見交換がなされました。

平成28年度 PC工学会との意見交換会を開催



▲近畿地方整備局との意見交換会



▲PC工学会との意見交換会

現場見学会開催

PC建協支部が主催する現場見学会が各地で開催されました。

【北海道支部】

平成28年9月30日と10月12日の2回にわたり、北見工業大学工学部社会環境系の学生と教員54人を対象に北見市内で施工中の川東通改築工事「見晴橋(仮称)」の現場見学会を行いました。

本橋は、橋長527.0m、幅員12.0mのPC8径間連続箱桁橋です。1工区(片持架設／日本高圧・渡辺・松谷JV)と2工区(固定支保工／ドーピー・タカハタ・早水JV)の現場見学を行った後、実際の緊張機器と模型を使ったPC技術や免震技術の説明を行いました。定着工法や免震支承の構造には学生から多くの質問が飛び交い、活発な質疑応答が行われました。



▲赤ノ谷橋を現場見学した参加者たち
《中国支部》

開催日	支部名	現場名/対象者	参加数
10月21日	北陸	国道8号 歌高架橋上部工事 /建設コンサルタンツ協会北陸支部	14人
11月 9日	関東	新東名高速道路 厚木第二高架橋 /建設コンサルタンツ協会関東支部	50人
11月14日	関東	新東名高速道路 海老名ジャンクション /川崎市職員	8人
11月16日	東北	飯塚大橋 /建設コンサルタンツ協会東北支部	47人

【中国支部】

平成28年10月8日に山口県長門市の国道491号長門俵山道路の赤ノ谷橋で山口大学工学部の学生など16人を対象とした現場見学会を実施しました。

赤ノ谷橋は橋長162.0m、最大支間72mのポストテンション方式のPC3径間連続ラーメン箱桁橋です(片持架設／ピーエス三菱・シマダ異工種JV)。

今回のテーマは「次世代を担う若手技術者に現場の魅力を伝える」で、参加者は工事の進め方や施工方法などを熱心に尋ねていました。

そのほか平成28年10月以降に実施した見学会は次の通りです。

PC技術専門家を派遣

PC建協では、多くの学生にPC構造に興味を持つてもらうことを目的にPC技術専門家を派遣しています。

【関東支部】

平成28年10月5日に前橋工科大学で工学部の学生42人に講義を行いました。



▲就職体験談を語る秋田大学卒業生《東北支部》 ▲前橋工科大学で行なわれた講義《関東支部》

した。講義では主にPCの概要について写真や資料を使って説明を行いました。

【東北支部】

平成28年12月14日に秋田大学で大

学院国際資源学研究科などの学生60人に講義を行いました。講義では

PCの概要、PC専門業者の役割、卒業生による就職活動体験談、大規模更新や補修といった最近の話題について動画や写真などを用いて説明を行いました。

開催日	支部名	学校名
10月12日	北陸	金沢大学(1回目)※2回目は10月21日
10月19日	中国	広島大学
10月19日	関東	東京理科大学
10月24日	北海道	北海道大学
10月26日	北海道	北海学園大学
11月 1日	北陸	長岡工業高等専門学校
11月 2日	北海道	苫小牧工業高等専門学校(1回目) ※2回目は11月16日
11月 4日	北陸	長岡技術科学大学
11月10日	北陸	富山県立大学
11月14日	北陸	福井工業高等専門学校
11月15日	北海道	室蘭工業大学
12月 2日	中国	山口大学
12月 6日	中国	吳工業高等専門学校
12月 7日	四国	香川高等専門学校
12月14日	関東	宇都宮大学(1回目)※2回目は12月21日
12月16日	北海道	函館工業高等専門学校
12月22日	関東	東海大学

各地でPC技術講習会開催

PC技術に関する講習会が各地で開催され、講師を派遣しました。

【関西支部】

平成28年10月12日に大阪府枚方市で行なわれた「平成28年度橋梁初級II研修（主催：近畿地方整備局）」で「コンクリート橋の補修・補強」について講習会を行いました。当日は管区内的自治体から道路係長、主任、技士など21人を対象に具体的な図や写真を示しながら説明しました。

【九州支部】

平成28年10月25日と26日の2日間、宮崎市で行なわれた「平成28年度橋梁維持管理研修（主催：宮崎県建設技術センター）」で「PC橋の劣化事例と補修」について講習会を行いました。今回は宮崎県と県内市町村から22人の橋梁管理者が参加しました。



▲熱心に聴講する
橋梁初級II研修参加者

開催日	支部名	対象者	講義内容
10月 4日	関西	京都市建設局	PC橋の概要、コンクリートの劣化、PC構造物の維持保全
10月 7日	関東	建設コンサルタンツ協会関東支部	床版を中心としたPCプレキャスト技術
10月12日	関西	建設コンサルタンツ協会近畿支部	設計品質・現場技術力、PC上部工事現場見学
10月13日	関東	群馬県建設業協会渋川支部会員	PC橋における点検ポイント・補修補強事例
10月26日	中国	コンサル技術者	PC技術
10月27日	東北	山形県建設コンサルタント三団体研修会参加者	PC橋の設計要點、施工留意点、橋梁付属物補修方法
11月 7日	関東	神奈川県	維持補修・管理
11月 9日	関東	埼玉県	道路街路課向け技術
11月15日	東北	道路構造物管理実務者研修参加者	コンクリート橋の損傷事例、補修補強
11月15日	関東	茨城県建設コンサルタント協会セミナー参加者	プレテンの設計
11月17日	東北	岩手県、岩手県市町村	橋梁技術
11月19日	中部	中部地域づくり協会 公開講座参加者	PCの特徴・用途、PC橋の施工技術
11月25日	北陸	北陸地方整備局、新潟県市町村職員	PC橋の施工技術
12月 9日	北陸	北陸地方整備局、富山県・石川県市町村職員	PC橋の施工技術

た。2日目には耐震設計の概要や補強事例を説明しました。

そのほか平成28年10月以降に実施した講習会は次の通りです。

第39回全国安全環境研修会を開催

平成28年10月13日と14日に静岡県伊東市で「第39回全国安全環境研修会」を開催しました。

13日は、今後発注される大規模更新・修繕事業（床版取替工事）において、注意すべき安全対策、及び環境・産業廃棄物処理の注意点に関する説明を行いました。また、平成27年6月4日に北海道で発生した災害（架設桁をジャッキダウンした際に



▲ 海老名JCT工事現場での安全パトロール



▲ 安全状況を確認する研修参加者たち

架設桁がベント上に落下して4人の作業員が被災）について、現場検証結果、発生要因、再発防止対策を報告しました。さらに神奈川県海老名市の工事現場の所長が安全対策を発表しました。この発表に先行し、同所長が担当する新東名高速道路海老名ジャンクションAランプ第二橋他5橋工事（固定支保工・PRC連続箱桁橋／日本ピーエス）へ出向き、研修の一環として安全パトロールを実施しました。

平成28年度「優秀施工者国土 交通大臣顕彰」、「青年優秀施 工者土地・建設産業局長顕彰」



▲式典後の祝賀会にて

平成28年10月7日、東京都港区のメルパルクホールにて、平成28年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）」「青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰（建設ジユニアマスター）」の顕彰式典が開催されました。今年で25回目です。

この建設マスターは優秀な建設技能者を国土交通大臣が顕彰する制度です。昨年からは若い技能者の育成促進策の一環として、現場経験10年

以上で年齢39歳以下を対象とした「建設ジユニアマスター」を設けています。

式典では、優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成などに多大な貢献をした建設技能者415人が建設マスターとして、また、今後さらなる活躍が期待される技能者106人が建設ジユニアマスターとして顕彰されました。

PC建協からは建設マスターを4人、建設ジユニアマスターを2人推薦し、合計6人が受賞されました。

なお、顕彰者は次の通りです。

建設マスター

氏名	年齢	所属会社	推薦会社
工藤 豊	51	(株)南總工業	(株)富士ピー・エス
谷口 秀樹	44	清和建設(株)	(株)日本ピー・エス
寺田 浩	43	(株)永江建設工業	極東興和(株)
藤居 吉也	58	(株)村田組	オリエンタル白石(株)

建設ジユニアマスター

氏名	年齢	所属会社	推薦会社
九十歩啓之	38	(株)スガナミ	オリエンタル白石(株)
竹岡 広文	39	(株)北部組	(株)富士ピー・エス

第25回プレストレストの コンクリート発展に関する シンポジウム(北九州)に出展



▲PC建協の展示ブース

モニター上映（PCのニューフェイスたち）を行い、多数の来訪がありました。

来年は神戸市六甲アイランドの神戸ファッショントマートで開催されます。

第2回北陸橋梁保全会議を開催

「第2回北陸橋梁保全会議」が、平成28年10月25日と26日の2日間にわたって新潟市の新潟グランドホテルで開かれました。講演、パネルディスカッション、論文発表のほか、26

団体が技術ブースを出展し、延べ988人の出席がありました。

この会議は、北陸地方での橋梁技術の発展と北陸特有の気象・事象による橋梁の諸問題への対策を図ることを目的として産学官連携で3年に1度、開催されるものです。主催は北陸地方整備局、共催はPC建協や日本橋梁建設協会などです。

初日は三木千壽東京都市大学学長による「道路構造物の経年劣化の現状と課題」と題した基調講演と、全国から集まった60編の報文発表が行われました。2日目の「維持管理と人材育成」と題したパネルディスカッションでは、丸山久一長岡技術科学大学名誉教授を座長に、北陸地方整備局企画官、新潟県と新潟市の

道路管理部門責任者のほか、PC建設協保全部会、日本橋梁建設協会、建設コンサルタンツ協会からパネリストが参加し、大変有意義な討論会でした。

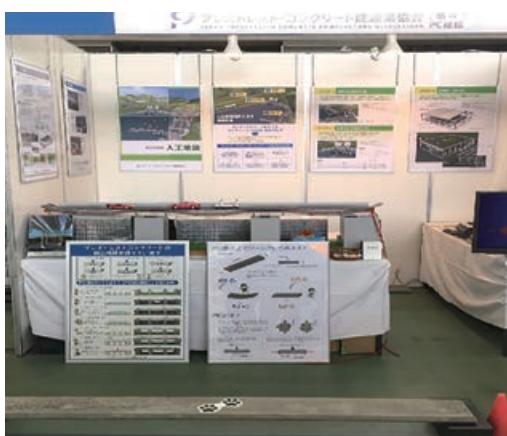
最先端の保全技術の確認から現在の問題点の洗い出しまで充実した2日間となりました。



▲ 北陸橋梁保全会議

ちばさんセンターで開かれ、約3500人が来場しました。

四国支部は出展ブースに「橋梁模型の分解組立デモンストレーションコーナー」などを設置して、PCの原理と仕組みを目で見てわかるようにしました。特にPC板(2000mm×250mm×30mm)に乗って強度を実感する「PC板上で飛び跳ねる体験コーナー」は大勢の学生が興味を示し、飛び跳ねても10cm近くたわんだ後に復元し、「凄い!」と好評を博していました。



▲ 見学者にPCの原理と仕組みを説明した展示ブース

が来場しました。

中部支部は会場内の学生交流ひろばへブースを出展。進路を模索している学生が約150人も来訪し、対応にあたつた支部員らはPC業界の全体概要や、苦労談や成功談を交えて自身の仕事の魅力を熱く語っていました。



▲ 業界研究プレゼンでPC業界の魅力を学生にアピール

PC建協です。

初日は学生23人を含む81人が参加しました。

まず「21世紀のPC建築」と題した鈴木計夫関西PC研究会代表（大阪大学名誉教授）の基調講演

から始まり、次に大野義照PC建築技術支援センター理事長（大阪大学名誉教授、PC建協理事）がPC建築の事例を紹介しました。午後からはPC建築の事例と特徴の解説と、「PC建築の魅力」をテーマにパネルディスカッションが行なわれました。

2日目はPC構造物の現場見学会が催され27人が参加しました。行き先是マリンメッセ福岡から門司港まで丸1日掛けてかなりの移動距離でしたが、参加者たちはPC建築物の美しさと魅力を改めて感じ入っていました。

最新の土木建設技術を展示する「建設フェア」が各地で開催されました。

【四国支部】

2年に1度開かれる「建設フェア」が平成28年10月14日と15日の2日間、高知市の高知建設広報協議会が主催・四国建設広報協議会が平成28年10月14日と15日の2日間、高知市の高知

建設技術展示会に出展

【中部支部】

平成28年10月20日と21日の2日間、名古屋市の吹上ホールで「建設技術フェア in 2016 中部（中部地方整備局、名古屋国際見本市委員会）」が開かれ、約1万4500人

PC建築フォーラム in 福岡 2016を開催

若い建築家や学生にPC建築の美しさや魅力を紹介する「PC建築フォーラム in 福岡」が平成28年10月22日と23日の2日間、福岡大学で開催されました。主催は（NPO）

PC建築技術支援センターと関西PC研究会、共催はPC工学会と



▲ 熱気にあふれたフォーラム会場



▲ 東北中央自動車道 福島JCT（ランプ橋）

東北中央自動車道 福島JCT～福島大笹生IC開通

平成28年9月11日に東北中央自動車道の福島JCT～福島大笹生IC（1・4km）が開通しました。福島JCTのランプ橋にはPC橋梁が7橋（PRC2主版桁橋）建設されました。

この区間は観光果物園が数多く並ぶ県道5号上名倉飯坂伊達線（通称フルーツライン）への接続道路で、平成29年度には米沢までの区間が開通予定です。

式典には福島県や近隣自治体の首長ら約70人が出席しました。



▲ 鷹巣大館道路 中小又沢こ道橋

鷹巣大館道路 鷹巣IC～二井田真中IC開通

平成28年10月22日に日沿道ネットワーク・鷹巣大館道路の鷹巣IC～二井田真中IC（2・2km）が開通しました。この区間にはPC橋梁の「中小又沢こ道橋（長さ73m）」と「櫃崎こ道橋（同32m）」が建設されました。

式典当日は金田勝年法務大臣、石川雄一国土交通省道路局長、秋田県や近隣市町の首長ら関係者約150人が出席しました。



▲ 野田川大宮道路開通式

山陰近畿自動車道 野田川大宮道路開通

10月30日に山陰近畿自動車道の野田川大宮道路の開通式が行われました。当日は京都府と近隣市町の首長など約400人が新道路の誕生を祝いました。

野田川大宮道路は京都府の京丹後大宮IC～天橋立IC区間（4・3km）で、この区間にはPC橋梁の石田椎の木橋（86m、PC3径間連結コンポ桁橋）が含まれます。

編集委員会

上野 進一郎（編集委員長）、樺福 浩（編集副委員長）、鈴木 裕二、吉山 誠之、竹本 伸一、的場 純一、内野 英宏、松嶋 憲昭、高松 正伸、石井 一生（特別顧問）

編集幹事会

手賀 由成（幹事長）、廣部 永隆（副幹事長）、白石 紀之、久我 誠志、俵 綾子、南 浩郎、小谷 仁、浦川 智治、木下 拓三、菅野 隆、太田 誠、清水 郁子、荒畑 智志、寒川 勝彦、西永 卓司

編集後記

サイクリングロードとして世界的に有名な「しまなみ海道」を訪れ、美しい島々に架かる橋を取材してきました。島を渡り、海を跨ぐ橋の中にはPC複合斜張橋もあり、その壮大さと美しさには目を見張るものがありました。また、この「しまなみ海道」の海は、本屋大賞を受賞し話題となつた「村上海賊の娘」で注目された村上水軍が活躍した場所でもあり、島と島の間を流れる潮流は激しく、その体験も取材しています。特別企画では、「PCの未来を担う海外経験者たち」と題し座談会を催し、言葉の問題、海外のプレキャスト化の事情、宗教の話などさまざまな話題で盛り上がった内容を記事にしています。「こんなところにPCが！」では、コンクリートで柔らかく包まれた体育館一白金の丘学園を紹介しています。プレキャスト・プレストレスコンクリートの面白い使い方やPCの魅力を感じて頂けたでしょうか。多くの方がPCに興味を持って貰えるよう今後も魅力ある広報をお届けして行きたいと思います。

(寒川)